OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	癌と人　第21号　目次
Author(s)	
Citation	癌と人. 1994, 21
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23889
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

◎題　字◎

財団法人　大阪癌研究会
理事長　千　代　賢　治
(住友生命保険(相)取締役相談役)

＊表紙絵解説

「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関係ある学会のシンボルマークに蟹の図案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのぼる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著述のところどころに，今日私どもがいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で，蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気（癌）の格好が蟹に似ていたのでそれを呼び名とした。

今日，欧米では日本でいう癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスと言葉からきたもので，両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス（蟹）という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

第21号　目　次

• ごあいさつ…… 1
千　代　賢　治

• 高齢化社会についての拙考…… 2
田　口　鐵　男

• 東洋医学と西洋医学…… 4
川　俣　順　一

• 死について…… 7
松　本　圭　史

• がんとQOL（クオリティ・オブ・ライフ）…10
豊　島　久真男

• 平成5年度事業報告……大阪癌研究会…12

• 財団法人大阪癌研究会寄附行為……14

• 本会役員・評議員・賛助会員名簿……17

• 平成5年度寄附者御芳名……22